

高砂市地域公共交通活性化協議会での意見による対応状況

① 協議会及び分科会の開催状況

令和7年 8月28日(前回)	令和7年度第2回高砂市地域公共交通活性化協議会
令和7年10月 7日	令和7年度第2回高砂市地域公共交通活性化協議会 交通事業者分科会
令和7年10月 7日	令和7年度第2回高砂市地域公共交通活性化協議会 利用者分科会
令和7年11月28日(本日)	令和7年度第3回高砂市地域公共交通活性化協議会

② 前回協議会での主な意見

パージ	意見	対応状況	会議名
P35	路線バスの系統名について、「北条営業所～宝殿駅北口系統」を二つに分けて記載しているが、包括的な表現として「播磨農高前」のみの記載にしてもらいたい。	「北条営業所～丸山公園前～神吉～宝殿駅北口系統」は削除(P19についても併せて修正)。	協議会
P62	「指標 1:公共交通の乗客数」にタクシーの乗客数も評価指標として入れてほしい。	タクシーの乗客数も評価指標として追記。	協議会
P63	路線バスの現状値の単位が間違っているので修正。	乗客数の単位について修正。	協議会
P68	事業進捗の評価方法について「目標達成状況を踏まえて事業の改善を行います。」とあるが、事業の達成が非常に厳しい場合は、事業の改善だけでなく見直しを行う場合があるので、「見直し」というワードを追記してはどうか。	「改善」に加えて「見直し」というキーワードを追記。	協議会

③ 分科会での主な意見

パージ	意見	対応状況	会議名
P28	現状①に「兵庫県内の65歳以上の運転免許返納者数(累計)は、右肩上がりで増加」とあるが、P14 図 2-5 を見ると、確かに累計は増えているものの、年度ごとにみると免許返納者は減っているため、表現を改めてはどうか。	「右肩上がり」ではなく、「免許返納者は毎年一定数存在する」ことが分かるような文章に変更。	交通事業者

P42	実施時期とその下の表を見たときに、色合いが同じであるため、前期で「定時定路線運行」、後期で「デマンド型運行」を行うように見えてしまう。	表の体裁を整え誤解を招かない表現に修正。	利用者
P52	モビリティマネジメントについて、車から公共交通へ転換するメリットを示してはどうか。例えば、高砂市の場合は南北をつなぐ道路で渋滞が起こりやすいので、渋滞の緩和に繋がる旨などを記載できれば。	渋滞の緩和に繋がる旨を追記。	交通事業者
P53	各種割引制度について、じょうとんバス以外にも各交通事業者で実施している割引制度があるので、追記してはどうか。	公共交通の促進のため、市だけでなく、交通事業者による取組みも追記。	交通事業者
P64	評価指標にある公共交通の収支差は今後も増加することが見込まれるため、じょうとんバスの運賃の在り方について触れてみてはどうか。	(変更なし) 今後経費の増加が見込まれる、車両に係る購入費や燃料費、人件費についてのみ記載しています。運賃について触れることで、値上げをするのではないかと不要な混乱を招かないために記載していません。 しかしながら、以前は100円と200円の二段階運賃のところ、令和3年度の見直し時に一律200円に変更した経緯もあります。今後も、社会情勢を加味しながら、適宜、運賃について検討してまいります。	交通事業者
P68	中間見直しの評価時期について、計画策定後5年目である令和12年か、それとも前期5年間の結果を見たうえで令和13年になるのか。	令和12年度に中間見直しを実施する旨を文章内に追記。	交通事業者

④ その他意見

意 見	市の考え方	会議名
利用者としては総論ではなく、具体的な各論が知りたい。	公共交通のマスタープランであるため、各論にまで至らない部分がありますが、PDCA サイクルを回すなかで、各事業について詳細な検討を行います。	利用者

市民は、行きたい場所に、行きたい時間に行けることを期待している。	公共交通であるため、全ての方の全てのニーズに応えることは難しいですが、協議会の場で協議を行いながら、できる限りのニーズに応えるよう検討してまいります。	利用者
75 歳以上全ての方にタクシー料金の助成を行ってはどうか。	各地域の状況によりますが、じょうとんバスの運行とタクシー料金の助成について比較を行い、より効果的なものを事業として検討します。	利用者
福祉や教育分野との連携について具体的なイメージはあるのか。	現時点で具体的なイメージはありません。今後、福祉や養育分野と連携し、社会情勢の変化や住民ニーズに応じた地域公共交通ネットワークの形成に向け、検討してまいります。	利用者